2012 年 2 月 29 日

各　　位

会 社 名　　株式会社　東芝
東京都港区芝浦１－１－１
代表名 代表執行役社長　　佐々木　則夫
（コード番号：6502　東、大、名）
問合せ先　　広報室長　　長谷川　直人
Tel　03-3457-2100

米国・ウェスタンデジタル社とＨＤＤ関連契約を締結

本日、当社は米国・ウェスタンデジタル社とのＨＤＤ関連契約について、添付のとおり発表しましたのでお知らせいたします。

以　上

２０１２－２－２９
株式会社　東芝

米国・ウェスタンデジタル社とＨＤＤ関連契約を締結
－ウェスタンデジタル社のＨＤＤ製造設備等の取得と当社タイ製造拠点の売却－

当社は、米国ウェスタンデジタル社（以下、WD社）と、WD社の３．５型ＨＤＤの製造設備等の取得と当社のタイ製造拠点の売却などに関する契約を締結しました。今後関係当局の認可を経て、本年３月下旬までに資産取引完了を目指します。

本契約により当社は、３．５型ＨＤＤに関し、WD社が所有するデスクトップＰＣ向け、コンシューマ製品[注1]向けの一部の製造設備および知的財産と、ニアライン[注2]向けの一部の製造設備を取得します。一方、当社のＨＤＤ製造拠点のひとつである東芝ストレージデバイス・タイ社（以下、ＴＳＤＴ）の全株式をWD社に譲渡します。なお、今回の資産取引は、WD社が従来から進めている「日立グローバルストレージテクノロジーズ」の株式取得完了および関係当局の認可が前提となります。

当社は、WD社の３．５型ＨＤＤ事業の一部の資産を譲り受けることにより、既存のＨＤＤ製品ラインナップにデスクトップＰＣやＤＶＤレコーダなどのコンシューマ製品向け３．５型ＨＤＤを加えることで、ＨＤＤ全分野の製品を提供することが可能となります。また、今後サーバ市場の拡大に伴い、市場規模が拡大すると見込まれるニアライン向けの供給能力を増やし、ストレージ事業のさらなる強化を図ります。

一方、WD社へのＴＳＤＴ株式売却により、当社のフィリピンの製造拠点と中国の生産委託先に生産を集約することで、効率的な生産体制を構築し、コスト競争力を一層強化します。

ストレージプロダクツ市場は、ＰＣ、タブレット端末、スマートフォン等アプリケーションの多様化や、クラウド化の進展による情報量の爆発的な増大により、継続的な拡大が見込まれています。
当社は、従来特化してきたモバイル市場向け小型ＨＤＤに加え、２００９年に富士通株式会社のＨＤＤ事業を買収し、サーバ市場向けＨＤＤにも事業分野を拡大しました。また昨年７月には、社内カンパニーである「セミコンダクター社」と「ストレージプロダクツ社」を統合し、ＮＡＮＤ型フラッシュメモリ、ＳＳＤ、ＨＤＤを一社で併せ持つ、総合ストレージ事業を推進してきました。

今回の取り組みを通し、当社はストレージ事業の拡大を加速し、同業界におけるリーディングカンパニーを目指します。

注１　ＤＶＤレコーダやセットトップボックスなどの映像保存用ＨＤＤ
注２　「ニアライン」とは、サーバ向けのストレージの一種で、頻繁にアクセスされる「オンライン」と呼ばれるストレージに対し、アクセス頻度は比較的少ないが大容量のデータを記録するストレージを示す。
信頼性の面では一般的なデスクトップＰＣ向けＨＤＤよりも高い。

東芝ストレージデバイス・タイ社の概要
所在地： タイ　パトゥンタニ県
代表者：社長　入子　実
設　立：２００９年１０月
資本金：１０億バーツ
出資比率：株式会社　東芝　１００％
業務内容：２．５型ＨＤＤの製造
従業員数：約４２００人

以　上